

目指すべき地域組織(案)

地域名:寺泊地域

1 組織

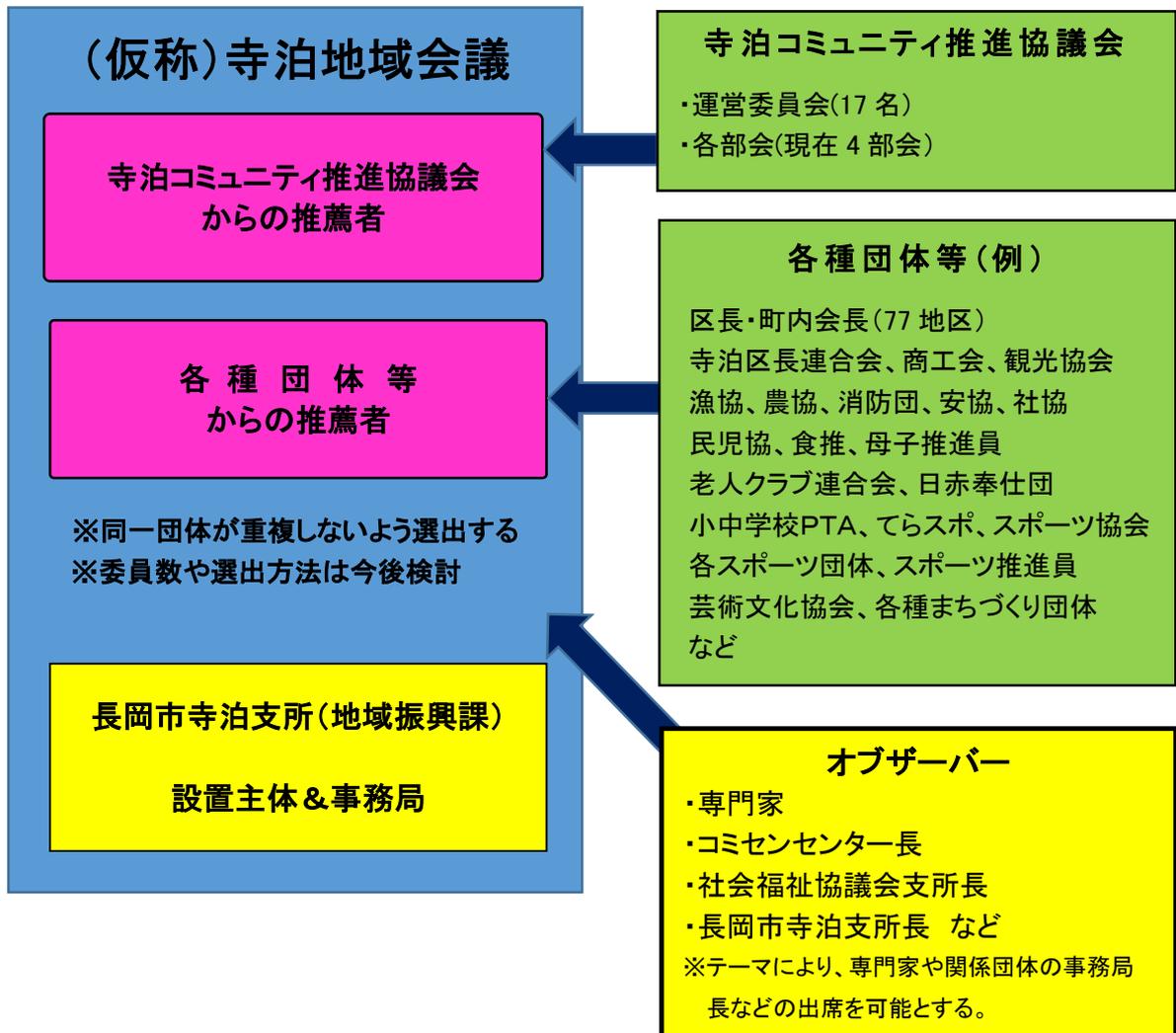
(1) 中心となる組織名(下図 青 部分)(仮称)寺泊地域会議(2) 中心となる組織の構成団体・メンバー(下図 ピンク 部分)寺泊コミュニティ推進協議会＋各種団体(各関係団体やまちづくり団体など)(3) 中心組織と定期的に連携する主な団体・メンバー(下図 緑 部分)寺泊コミュニティ推進協議会＋各種団体(各関係団体やまちづくり団体など)(4) 支所との関係・立ち位置(黄 で図上に示してください、説明は任意)

支所は、「仮称:寺泊地域会議」の設置主体として事務局を担当する。
 なお、委員のほかに専門家や各組織事務局長などによる「オブザーバー」を置く。

(5) 移行時期(目標)

令和4年度を目標。令和3年度の地域委員に委嘱し、移行準備を行う。

【組織図】



2 組織を運営する上での懸案・要望事項(制度、予算、人、運営方法等)

【方向性】

- ・最終的な組織としてはコミセン推進協議会に集約したいが、コミセン推進協議会から「地域委員会の機能を担うことは重荷である。」という意見をもらっているため、寺泊コミュニティ推進協議会と各種団体からの推薦者を委員とする「仮称:寺泊地域会議」を設置し、事務局は寺泊支所が所管する。

【行政上の位置づけ】

- ・寺泊地域全体のまちづくりを検討する最上位の組織として位置づける。
ただし、広聴機能については、区長・町内会長の組織を最上位の組織と位置付ける。

【予算】

- ・委員の会議出席謝金や会議費(お茶代等)などの予算は必要。

【人員・運営方法】

- ・(仮称)寺泊地域会議の委員数は、現在の地域委員会と同じ程度を想定。
- ・事務局を支所地域振興課が担当するため、特に問題なし。

3 その他(地域事情、特に考慮すべき事項等があれば記入)

- ・寺泊コミセン推進協議会は発足から3年目ということもあり、コミセンとしての課題(役割の見直しや組織変更など)を検討中であり、この内容を踏まえながら、(仮称)寺泊地域会議の組織体制等を検討していく必要がある。
- ・(仮称)寺泊地域会議における「公募枠」をどうするか、今後検討が必要。

4 新たな組織で取り組んでみたいこと(参考)

- ・まずは、寺泊地域のまちづくり全般について、意見を出し合い、課題解決に向けた具体的な取り組みの検討と役割分担や連携体制を整理し、合意形成する場としたい。
- ・「地域の宝磨き上げ事業」の採択等に対する意見を求める場としたい。